

ギターによる沖縄メロディー



日時：平成 16 年 2 月 8 日（日）18:00 開演

場所：添石公民館

出演：アーマンギター合奏団

主催：添石自治会

御 挨 捭

代表 屋富祖博子 本日は私達のコンサートに御来場いただきまして誠にありがとうございます。

7月に結成された「アーマン」ですが、この日に向かって少しづつ気持ちを高めてきました。今日の皆様との出会いは私達にとって一生忘れないものとなるでしょう。

ギターの音色は心にしみる、やさしさとなつかしさをかもしだす不思議な楽器です。又家族の誰かが持つていそうな親しみと手軽さがあります。弾いてみると意外に表現方法が多様で追求しても追求しても深いものがあり興味をそそられていきます。

「アーマン」の11名は4つの公民館のギターサークルより選ばれたエネルギーあふれる仲間です。牧野先生の心強い指導を受けて今日のコンサートを迎えました。それぞれが出来る限りを表現出来たらと願っています。そして最後まで皆様に楽しんで頂けましたら幸いです。



指揮：編曲 牧野哲仁 添石自治会の皆様、本日はこのコンサートにお越し戴き誠に有り難うございます。私はサンヒルズタウンの自治会長として当地の島袋稔自治会長には大変なお世話を頂いている者ですが、かねてより島袋会長から「公民館で演奏会を！」と依頼されておりまして、この度ようやく添石自治会の皆様にギターを聞いて頂く事ができ私自身も嬉しくてなりません。

音楽は心を静め安らぎを与え生きる希望を与えてくれます。沖縄の人達はその事を良く知っていたので生活の中に音楽を取り入れ豊かな文化を育んできました。そして、公民館は地域の顔であり生活文化の中心であります。その公民館でコンサートが開催されるのはまさしく生活の中に音楽文化を取り入れると言う事であり意義深いものです。

宮良長包から始まった新しい沖縄メロディーは今日大ヒットを飛ばしています。本日は沖縄メロディーと共にギター本来の名曲他も演奏しますので、沖縄メロディーの素晴らしいがこれらの名曲に遜色無い物である事を感じて頂ければと願っております。



プログラム

- 第1部 合奏 1. アスター マニヤ アルベルト城間
2. 芭蕉 布 普久原恒勇
3. オランダ屋敷 宮良長包
独奏 4. パラグアイ舞曲 A. バリオス 演奏: 牧野哲仁
5. 盗賊の歌 カタロニア民謡 演奏: 又吉けい子
6. 聖母と御子 カタロニア民謡 演奏: 屋富祖博子
重奏 7. 浜辺の歌 成田為三
演奏: 又吉けい子・又吉均・中井実
8. アメイジンググレイス J. ニュートン
演奏: 屋富祖博子・宮城功
9. 対話風小二重奏曲 F. カルリ 演奏: 又吉均・中井実

休憩

- 第2部 合奏 10. 下がり花 又吉けい子
11. 潮がれ浜 石島英文
12. あかゆらの花 宮良長包
13. 童神 佐原一哉
14. 涙そうそう BIGIN
15. 花 喜納昌吉
16. 島歌 宮沢和史
17. 月桃の花 海勢頭豊
18. えんどうの花 宮良長包



合奏団とメンバーの紹介

指揮・編曲 牧野哲仁 代表 屋富祖博子
又吉均 金城 薫 金城茂子 松川憲彦 又吉けい子
宮城功 亀島幸子 伊豆味玲子 知名恭子 中井実

アーマンギター合奏団は那覇市女性センターを活動場所として結成されたサークルですが永らく休止しておりました。昨年同センターが新都心に移転したのを機に再結成し、より高度で専門的なギター合奏を目指しています。サークル結成の折から活動場所の確保が難しく「やどかり」のような状態であった事から「アーマン」という名称にしました、その状況は再結成した今も変わらないことから「アーマン」を「ソニード」に改め活動場所も浦添公民館で行う事になりました。本日の演奏会は「アーマン」という名で最後の演奏会になります。

曲目解説

◆アスター二ニヤ/アルベルト城間

1994年人気グループ「ディアマンテス」初の全曲オリジナルによるセカンドアルバムで発表された曲で「明日への子守歌」という副題が付いている。

◆芭蕉布/普久原恒勇

沖縄メロディーの代表といえばこの曲、1965年に初録音されNHKの名曲アルバムにも取り上げられ親しまれている。

◆オランダ屋敷・あかゆらの花・えんどうの花

宮良長包は明治16年に生まれ、沖縄音楽の先駆者となり、洋楽の教育と普及に大変な苦労を重ねた。昨年生誕120周年記念行事が催され増え音楽的価値を高めている。

◆バラグアイ舞曲/A.バリオス

南米巴拉グアイに生まれ放浪詩人かつギターの名手としても名を馳せ数多くの名曲を残した。

◆盗賊の歌・聖母と御子/カタロニア民謡

近代ギターの名手リョベートによってスペインカタロニア地方の民謡がギター独奏曲として愛奏されるようになった。

◆浜辺の歌/成田為三

日本唱歌の名曲をギターで奏でます。沖縄メロディーもこの曲のようにいつまでも愛され続けて欲しいものです。

◆アメイジンググレイス/ジョン・ニュートン

作曲者は、1725年イギリスに生まれ、後に奴隸船の船長になった。ある日、彼の乗った船が嵐に会い、彼は「神よ、もし私の命が助かるならば、私はあなたのものに戻ります。」と祈りました。彼は助かり改心して牧師になりました。彼の告白的な歌詞に曲が付けられイギリスの古い贊美歌となりました。この曲は映画やドラマなどでも良く使われ最近テレビドラマの「白い巨塔」でも使われています。

◆対話風小二重奏曲op.34-2/F.カルリ

カルリは1770年ナポリに生まれ活躍したギタリスト兼作曲家。ギター古典期の名曲です。

◆潮がれ浜/石島英文(旧姓 喜友名)

明治43年石垣島に生まれる。昭和3年竹富小学校訓導を始めとして昭和37年宜野座高校教頭まで教職を勤める傍ら作曲を手掛けたが、児童詩の分野にも功績を残した。

◆下がり花/又吉けい子

当合奏団メンバーでもある「又吉けい子」の作詞作曲で、西原町の有名な「さわふじ」を歌った曲。美しいメロディーが好評を呼んでいる。

◆董神/佐原一哉

古謝美佐子が初孫誕生に際して歌詞を作りご主人が作曲した曲で1997年の作。夏川りみや山本潤子、花*花などがカバーし歌っている。胎教にも良いと評判である。

◆涙そうそう/BEGIN

森山良子の歌詞に石垣出身のBEGINが曲を付け話題にはなっていたが、夏川りみによって一躍ヒットした曲である。

◆花/喜納昌吉

1960年のセカンド・アルバムに収録された曲で、アジア全域でヒットし逆輸入の形で日本でヒットした。

◆島歌/宮沢和史

1992年にTHE BOOMが歌いヒットした曲。一昨年ブラジルでもヒットし、サッカーワールドカップでブラジルチームの応援歌として歌われた。

◆月桃の花/海勢頭 豊

映画「GAMA」の主題歌。沖縄戦でガマに起きた悲劇を題材にしたこの映画は1996年に公開され反響を呼ぶ。